

科目名 Course Name	社会福祉の原理と政策Ⅱ Social Welfare Principles and Policies Ⅱ			ナンバリング No.	I2-001		
年次	1年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	大熊 信成						
連絡方法	C-Learning で対応。 または福祉棟 3F 研究室。 オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(社会福祉士国家試験受験資格取得必修)						
関連 DP	DP2, DP3, DP5						
授業の概要と 到達目標	<p>前期履修科目「社会福祉の原理と政策Ⅰ」で学んだ社会福祉の基礎知識を前提に、社会福祉と関連政策(教育・住宅・労働政策等)組織・福祉サービス供給システム等について理解を深め、現代社会における社会保障・福祉の課題について理解する。</p> <p>① 社会保障・福祉と関連政策についての関係性を理解し、説明できるようにする。 ② 社会福祉政策の構成要素と機能・役割を理解し、説明できるようにする。 ③ 社会福祉政策と地方自治体の役割及び現状と課題等を理解し、説明できるようにする。</p>						
授業の方法	基本的に講義形式で行うが、リアクションペーパーを実施し、グループ討議での振り返りを行う等アクティブラーニングの技法を取り入れる。また必要に応じて小テストを実施するとともに社会福祉国家試験対策も行い、知識の定着を図る。						
学習成果	L01						
	L02	① 社会保障・福祉システムが現代社会において不可欠であることが認識でき、説明することができる。 ② 関連政策を学ぶことによって総合行政としての社会福祉の位置付けを明確にすることができる。					
	L03	民間活力の活用等、行政と民間事業との関係を説明することができる。					
	L04						
課題に対する フィードバック	毎回の授業でリアクションペーパーを実施する。リアクションペーパーは振り返りを行い全員でシェアをする。また試験対策を行い、授業内で解答・解説を行う。						
教科書/ 参考図書	① 『社会福祉の原理と政策』 第2版 弘文堂 ② 『現代社会福祉の諸相』 大学図書出版 大熊編著他 授業中に指示し、資料を配布する。						
履修上の留意点 やルール等	一部視聴覚教材を使用し、内容をレポートで確認する。目的意識・課題意識を明確にして授業に臨み、口頭で述べたこともきちんとノートにとること。遅刻・早退・私語・居眠りは厳禁。「社会福祉の原理と政策Ⅱ」だけの履修は認められない。「社会福祉の原理と政策Ⅰ」をあらかじめ履修しておくこと。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。社会福祉主事任用資格に係る科目である。						
担当教員の実務 経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	授業への積極的参加を評価する。個人ワークを自主的に行い、明確な課題意識をもって授業に臨むことができる。これらを総合的に判断する。		20		
レポート/作品	提示するテーマについて自分の言葉で述べる事ができる。最高評価であるSは意欲的に課題に取り組んでおり、着手すべきテーマの趣旨に沿っていて、学習の成果が十分に示されている。		20		
発表					
小テスト					
試験	論述、選択記述式の定期試験を行い、評価する。論述は根拠(エビデンス)に基づき自分の言葉で述べられていること。			60	
その他					

<b>合 計</b>		40	60
------------	--	----	----

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(授業のねらいと進め方・成績評価の方法・授業中の留意点など)
	事前・事後学習	「社会福祉の原理と政策Ⅰ」で学んだ内容について各自ノートにまとめておくこと。配布資料参照
2	授業内容	現代社会における福祉領域の意義と考え方
	事前・事後学習	福祉領域についてテキストを参照にしてノートにまとめること。配布資料参照
3	授業内容	福祉政策の基本的な視点
	事前・事後学習	現代の社会問題と福祉政策についてテキストを参照にしてノートにまとめること。テキストp.43～58
4	授業内容	社会福祉の思想・哲学、理論① 思想、哲学、理論の考え方
	事前・事後学習	社会福祉の思想・哲学、理論についてテキストを参照にしてノートにまとめること。テキストp.43～58
5	授業内容	社会福祉の思想・哲学、理論② 論点と対象のニーズ
	事前・事後学習	社会福祉の思想・哲学、理論について自己と体験を交えながらノートにまとめること。テキストp.54～58
6	授業内容	福祉サービスの供給と利用過程① 福祉供給部門について
	事前・事後学習	福祉供給部門について調べておくこと。テキストを参照にしてノートにまとめること。テキストp.185～204
7	授業内容	福祉サービスの供給と利用過程② 福祉利用過程について レポート「ニーズアセスメントについて」第8回の授業日に提出
	事前・事後学習	福祉利用過程についてノートにまとめること。レポートを作成すること。テキストp.185～204
8	授業内容	福祉政策の動向と課題① 貧困者の政策課題
	事前・事後学習	貧困者の政策についてテキストを参照にしてノートにまとめること。テキストp.138～143
9	授業内容	福祉政策の動向と課題② 高齢者の政策課題
	事前・事後学習	高齢者の政策についてテキストを参照にしてノートにまとめること。テキストp.144～149
10	授業内容	福祉政策の動向と課題③ 障害者の政策課題
	事前・事後学習	障害者の政策についてテキストを参照にしてノートにまとめること。テキストp.150～154
11	授業内容	福祉政策の動向と課題④ 児童関連の政策課題
	事前・事後学習	児童の政策についてテキストを参照にしてノートにまとめること。テキストp.154～164
12	授業内容	福祉政策の論点 自立支援、エンパワーメントなど
	事前・事後学習	自立支援、エンパワーメントの用語について調べておくこと。テキストを参照にしてノートにまとめること。テキストp.51
13	授業内容	福祉政策と関連施策 教育、住宅、労働など
	事前・事後学習	福祉政策と関連施策についてノートにまとめておくこと。テキストp.165～183
14	授業内容	福祉政策におけるニーズと資源
	事前・事後学習	福祉施策におけるニーズ(種類と内容)、資源についてテキストを参照にしてノートにまとめること。テキストp.54～58
15	授業内容	福祉政策の国際比較 これからの社会福祉 授業のまとめ
	事前・事後学習	国際比較及びこれからの社会福祉について自分の意見をまとめること。試験対策を行うこと。テキストp.205～236